

NEWSLETTER No.38

編集・発行 甲南英文学会事務局
〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1
甲南大学文学部英語英米文学科気付
発行日 2005年8月1日

1 総会報告

第21回甲南英文学会定期総会が、7月2日(土)13時30分より甲南大学224号教室で開催され、以下の議題が審議されました。

(1) 2004年度決算報告

山口徳一氏より2004年度収支決算が報告され、合わせて会計監査の報告のあと、会計報告は適正であることが拍手で承認されました。

(2) 2005年度予算案

山口徳一氏より2005年度予算案が提案され、拍手で承認されました。

(3) その他

- ・ 名誉会員の規約改正について、現行規約第4条の2を2005年7月3日付けで「本会の発展に著しく貢献した者」と変更することになりました。なお、これまでの名誉会員の方々に関しては従来通りです。
- ・ 郵便為替の連絡等について、現行規約第11条の下に付則として「口座住所を会計役員の住所に置く」という文を付け加えることになりました。
- ・ 来年度以降の会員名簿配布についての話し合いが行われ、投票により承認されました。
- ・ 2005年度からの会計役員は玉野景子氏から菅原美知恵氏へと交代しました。

2 個別研究発表 (2号館2階224教室)

[英語学] 司会：要素子(甲南大学非常勤講師)

- ・ ロバの文の再投射分析 根之木 朋貴(甲南大学大学院)
- ・ 空の再述代名詞と移動連鎖 福田 稔(宮崎公立大学)

[英米文学] 司会：大森義彦(甲南大学)

- ・ *Roughing It* における Mark Twain の manliness の結末
和栗 了(京都光華大学)

3 講演会 (2号館2階224教室)

講師: Brian Masaru Hayashi 氏(京都大学大学院人間・環境学研究科)

演題: Fictionalizing the Camps and 'Factionizing' Literature: A Historian's View of Literature and the Japanese American Internment

司会: 安武留美氏(甲南大学)

講演会に引き続き、18:15より懇親会が開かれ、盛会のうちに散会となりました。

4 編集委員会より

『甲南英文学』第21号への論文投稿の締め切りは、例年通り11月30日(水)です。奮ってご投稿下さい。投稿に関する詳細については、『甲南英文学』に記載の投稿規定をご覧ください。